



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社kids Smile Holdings 上場取引所 東
 コード番号 7084 URL <https://www.kidssmile-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 正文
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 田上 節朗 (TEL) 03-6421-7015
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,430	28.8	△317	—	921	△47.9	600	△46.0
2020年3月期第2四半期	3,438	—	△306	—	1,770	—	1,111	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 600百万円(△46.0%) 2020年3月期第2四半期 1,111百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	189.59	184.92
2020年3月期第2四半期	411.84	—

(注) 1. 2019年3月期第2四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2020年3月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,710	5,342	49.9
2020年3月期	11,525	4,726	41.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,342百万円 2020年3月期 4,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,852	21.7	△682	—	651	△65.4	387	△67.1	122.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	3,172,000株	2020年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	一株	2020年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	3,167,071株	2020年3月期2Q	2,700,000株

(注) 当社は、2019年12月10日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明会資料の入手方法)

決算説明会(機関投資家・アナリスト向け)の資料は、説明会終了後に当社ウェブサイトに掲載する予定でありま

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた緊急事態宣言が全面解除された2020年5月を底として、緩やかな回復基調が続いております。ただし、経済活動や消費行動は自粛ムードの残存から引き続き抑制的であり、失業率の上昇や残業代、賞与の下振れなど所得環境の悪化も加わり、社会・経済活動の回復への動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

2020年9月に発足した新政権においても、待機児童の解消を目指し、女性の就業率の上昇を踏まえた受け皿整備に更に取り組んでいく方針を示しております。こうした政府の取り組みにより、保育所は増加しており、保育所需要は今後落ち着くことが想定されているものの、都市部では人口流入等による保育需要の増加が続いていることから、地域により保育所の新設に対する需要は当面続くものと見込まれると考えられます。

このような状況のもと、当社グループの新規施設の開設につきましては、認可保育所の開設を推進しており、2020年4月に東京都に9施設、2020年7月に東京都に1施設を計画通り新規開設しました。その結果、当第2四半期連結累計期間末における当社グループが運営する施設数は、認可保育所を東京都・神奈川県・愛知県に56施設、プレスクール一体型保育所(認可外保育施設)を東京都に4施設、幼児教室を東京都に1施設となりました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みとして、引き続き、保育所においてはオンライン保育コンテンツの配信等を含め感染防止対策を施しての園運営を実施、本社では在宅勤務・時差通勤の推進、オンライン会議等の活用等の対応を実施してまいりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,430百万円(前年同四半期は3,438百万円)、営業損失317百万円(前年同四半期は306百万円)、経常利益は921百万円(前年同四半期は1,770百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は600百万円(前年同四半期は1,111百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、10,710百万円(前連結会計年度末は11,525百万円)となり、前連結会計年度末に比べ814百万円減少しました。その内訳は以下のとおりとなります。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,756百万円(前連結会計年度末は2,545百万円)となり、前連結会計年度末に比べ789百万円減少しました。これは未収入金の増加(58百万円)等があったものの、現金及び預金の減少(807百万円)等があったことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、8,954百万円(前連結会計年度末は8,979百万円)となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少しました。これは建物及び構築物(純額)の増加(1,124百万円)並びに敷金及び保証金の増加(101百万円)等があったものの、建設仮勘定の減少(1,341百万円)等があったことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、2,079百万円(前連結会計年度末は3,616百万円)となり、前連結会計年度末に比べ1,537百万円減少しました。これは賞与引当金の増加(91百万円)等があったものの、短期借入金の減少(1,547百万円)及び1年内返済予定の長期借入金の減少(116百万円)等があったことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、3,288百万円(前連結会計年度末は3,181百万円)となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加しました。これは長期借入金の減少(195百万円)等があったものの、繰延税金負債の増加(291百万円)等があったことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、5,342百万円(前連結会計年度末は4,726百万円)となり、前連結会計年度末に比べ615百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(600百万円)等があったことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ807百万円減少し、718百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,529百万円(前年同四半期は2,041百万円の増加)となりました。

主な内訳は、売上債権の増加(64百万円)及び前受金の減少(20百万円)等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益(921百万円)及び減価償却費(348百万円)等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、492百万円(前年同四半期は1,018百万円の減少)となりました。

主な内訳は、認可保育所の新規開設に伴う有形固定資産の取得(492百万円)等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,844百万円(前年同四半期は1,293百万円の減少)となりました。

主な内訳は、長期借入れによる収入(28百万円)及び新株予約権の行使による株式の発行による収入(15百万円)の資金の増加があったものの、短期借入金の純増減額(1,547百万円)及び長期借入金の返済による支出(339百万円)の資金の減少があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年8月14日に公表しました予想に変更はありません。

なお、当該連結業績予想につきましては、2021年3月期末まで新型コロナウイルス感染症による影響等は続くと考えておりますが、再度の緊急事態宣言の発令等の社会的制限が実施されないことを前提として算定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,526,422	719,099
売掛金	36,796	17,951
前払費用	314,514	287,777
未収入金	660,317	719,086
その他	7,856	12,536
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	2,545,807	1,756,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,939,032	7,063,192
工具、器具及び備品（純額）	130,619	145,528
建設仮勘定	1,801,171	459,587
その他（純額）	46,528	90,418
有形固定資産合計	7,917,351	7,758,727
無形固定資産		
その他	4,035	3,638
無形固定資産合計	4,035	3,638
投資その他の資産		
長期前払費用	657,421	694,166
敷金及び保証金	392,412	493,962
その他	8,131	3,545
投資その他の資産合計	1,057,965	1,191,674
固定資産合計	8,979,353	8,954,039
資産合計	11,525,160	10,710,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	2,409,258	861,600
1年内返済予定の長期借入金	561,896	445,674
未払金	244,553	266,525
未払費用	122,182	136,058
未払法人税等	33,615	32,535
賞与引当金	160,769	251,866
その他	84,149	85,114
流動負債合計	3,616,425	2,079,374
固定負債		
長期借入金	1,088,891	893,338
資産除去債務	87,694	106,090
繰延税金負債	1,675,521	1,966,803
退職給付に係る負債	23,111	28,739
長期前受金	237,985	222,072
その他	68,555	71,169
固定負債合計	3,181,759	3,288,213
負債合計	6,798,184	5,367,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	567,820	575,652
資本剰余金	467,820	475,652
利益剰余金	3,690,249	4,290,706
株主資本合計	4,725,889	5,342,010
新株予約権	1,086	792
純資産合計	4,726,975	5,342,802
負債純資産合計	11,525,160	10,710,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,438,631	4,430,453
売上原価	3,120,285	4,046,630
売上総利益	318,346	383,822
販売費及び一般管理費	624,949	701,738
営業損失(△)	△306,603	△317,915
営業外収益		
補助金収入	2,112,755	1,250,274
その他	674	10,446
営業外収益合計	2,113,429	1,260,721
営業外費用		
支払利息	14,700	13,351
支払手数料	20,139	6,605
その他	1,950	999
営業外費用合計	36,791	20,957
経常利益	1,770,034	921,848
特別利益		
その他	—	30
特別利益合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	1,770,034	921,878
法人税、住民税及び事業税	17,957	25,235
法人税等調整額	640,083	296,186
法人税等合計	658,041	321,421
四半期純利益	1,111,993	600,456
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,111,993	600,456

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,111,993	600,456
四半期包括利益	1,111,993	600,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,111,993	600,456

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,770,034	921,878
減価償却費	281,788	348,204
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,065	91,097
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,030	5,628
補助金収入	△2,112,755	△1,250,274
支払利息	14,700	13,351
売上債権の増減額(△は増加)	△131,289	△64,759
未払金の増減額(△は減少)	42,790	21,123
未払費用の増減額(△は減少)	△233,718	13,898
前受金の増減額(△は減少)	120,304	△20,897
その他	260,443	214,810
小計	7,265	294,061
利息及び配当金の受取額	7	9
補助金の受取額	2,112,755	1,250,274
利息の支払額	△15,023	△13,174
法人税等の支払額	△63,133	△32,360
法人税等の還付額	—	30,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,041,870	1,529,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,013,497	△492,664
その他	△5,187	△218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,018,684	△492,882
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△878,713	△1,547,658
長期借入れによる収入	405,692	28,000
長期借入金の返済による支出	△821,225	△339,774
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	15,400
その他	1,204	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,293,040	△1,844,032
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△269,854	△807,222
現金及び現金同等物の期首残高	696,888	1,526,212
現金及び現金同等物の四半期末残高	427,034	718,989

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の一部行使に伴う払込みを受け、資本金が7,832千円、資本準備金が7,832千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、幼児教育事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。